

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.9
平成26年7月9日

子どもの心の栄養—弥富市青少年健全育成大会より

7月5日（土）、弥富市青少年健全育成大会が弥富市総合社会教育センターで開かれました。活動発表の部では、弥富北中学校ダンス部の演技発表がありました。創部1年の部ですが、笑顔を絶やさず、表情豊かでまとまりのある演技に場内の観客は魅了されました。昨年度、ドリームファンタジア（学校部門）、東海TVダンスフェスティバル等の大会で優勝されたと伺いましたが、それを実証するかのよう素晴らしい演技でした。ありがとうございました。

講演の部では、臨床心理士で愛知県小・中・高等学校スクールカウンセラー、保育園巡回療育相談員、愛知教育大学・愛知県立大学非常勤講師としてご活躍の山口 力氏の講演をお聴きしました。「**いじめの根源にあるもの—No.1、Only OneからALL Oneへ—**」という演題でした。

最近の日本の若者は、欧米や中国・韓国の若者と比較すると、「自分に自信がもてない」「自分のことを好きでない」と思っている人の割合が極めて高いというデータを示されました。いじめの加害者も被害者も、この自尊心の低さや劣等感の強さを特徴的にもっている。それは、「**大人が、子どもが努力した結果を中心に判断し、努力の過程をみてくれない。認めてくれない。9ある良いところより、1しかない悪いところに目がいってしまう。子どもに理想ばかり求めて、あるがままの姿を認めることができない**」と、いうようなお話をされました。

教師も親も、今一度、子ども達への接し方・声かけの仕方を振り返る機会を与えてくださったような気がします。

子どもの心の三大栄養素として、①**ありがとう**と言える（感謝）、②**ごめんなさい**と言える、③**友達と仲よくする**の三つをあげられました。裏面の「子どもの心の栄養素」とともに、心に留めておきたいと思います。参加してくださった保護者の皆さま、ありがとうございました。

七夕について—全校朝礼の話より（7/7）

みなさん、7月7日は、何の日か知っていますか。そうです、七夕ですね。七夕について知っていることを教えてください。

3年A子：「願いごとを笹に書きます。」

3年B子：「織姫と彦星が1年に一度、天の河を超えて、出逢うことができます」

そうですね。

七夕には、3つの伝説がありますが、この織姫・彦星伝説が一番広く知られています。この七夕は、古くは中国から伝わり、中国、台湾、日本、韓国、ベトナムなどに伝わりました。日本には奈良時代に伝わりました。この伝説のあらましは、次のようなお話です。

むかし、天の帝に織女（織姫）という一人の美しい娘がおりました。機織が上手で、毎日、機（はた）を織って暮らしていました。

そのうち、農耕に一生懸命な牽牛（彦星）と結婚し、二人は夫婦になりました。ところが、それからというもの織女は、あれほど熱心だった機織りをやめてしまい、牽牛もまじめな生活がゆるんでしまいました。それで、織女の父の天帝は怒って牽牛を織女から引き離し、銀河のかなたに追放してしまいました。しかし、悲しみにくれる織女を見かねた帝は、年に一度、7月7日だけ逢うことをゆるしたのです。

みなさんは、毎日、家族やクラスの友達と会うことができ、そのありがたさに気付かないものです。「友達といっしょに笑う」「人にほめられて嬉しい気持ちになる」そんなことが、毎日のようにあるにしても、それは、その一瞬一瞬、その時だけですよね。

ですから、1年に一度しか会えない織姫・彦星と同じで、みなさんも、人と人との出会いやその時の出来事を大切にしてほしいと思います。